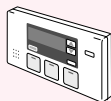


ガスふろ給湯器

自動タイプ

131-N620型

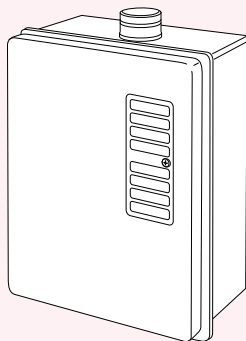
<BL認定品> 型式名 GRQ-1636SAX-F



(浴室リモコン)



(台所リモコン)



(131-N620型)

取扱説明書 保証書付

大阪ガス

このたびは大阪ガスのガスふろ給湯器をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ・この説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。
- ・保証書の内容もよくお読みいただき、保証期間・保証内容などを確かめてください。
- ・この取扱説明書(保証書付)はいつでもご覧になれるところに保管してください。

SAR8398



SAR8398 T

こんなことができます

お湯を出す



お湯の温度をお好みの温度に設定して使用できます。

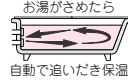
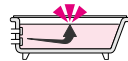
(目安の温度：℃)

32	35	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	60
食器洗いなど				シャワー、給湯など				給湯など				《高温》		

お風呂を自動で沸かす 残り湯を沸かし直す



設定した温度・湯量で
自動的にお湯はり



お湯がさめたら
自動で追いだき保温
自動保温は
沸き上がりから
4時間以内
※保温時間は
変更できます

お風呂の追いだきを する

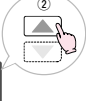


お風呂のお湯の温度を上げることができます。

お風呂のお湯を 増やす <足し湯>



「たっぷり」を選択



お風呂のお湯の量を
増やすことができます。

お風呂のお湯を ぬるくする <さし水>



「ぬるく」を選択

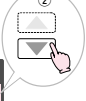


お風呂のお湯の温度を
下げることができます。

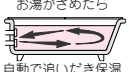
お風呂の沸き上がりの 時刻を予約する (台所リモコンがある場合)



「ふろ予約」を設定



設定した温度・湯量で
自動的にお湯はり



お湯がさめたら
自動で追いだき保温
自動保温は
沸き上がりから
4時間以内
※保温時間は
変更できます

もくじ

リモコンの特徴	1
必ずお守りください(安全上の注意)	3
各部のなまえとはたらき(機器本体)	10
各部のなまえとはたらき(リモコン)	11
浴室リモコン	11
台所リモコン	13
初めてお使いになるときは	15
時計を合わせる	16

使いかた

お湯を出す/お湯の温度を調節する	17
お風呂を自動で沸かす	19
残り湯を沸かし直す	22
ふろ温度を調節する	23
ふろ湯量を調節する	24
お風呂の追いだきをする	25
お風呂のお湯を増やす(足し湯(たっぷり))	26
お風呂のお湯をぬるくする(さし水(ぬるく))	27
浴室から台所リモコンのチャイムを鳴らす	28
お風呂の沸き上がり時刻を予約する	29
各設定を変更する	31
(お風呂の保温時間、リモコンの音量・音声ガイド・表示の節電)	

凍結による破損を予防する	33
日常の点検・手入れのしかた	35
故障・異常かな?と思ったら	37
アフターサービスについて	43
主な仕様	44
保証書	裏表紙

リモコンの特徴

リモコンが音声でお知らせします <音声ガイド>

操作の内容を女性の声やメロディでお知らせします。
 台所リモコン・浴室リモコンの両方がある場合には、片方のリモコンで温度設定を変更したことを、もう一方のリモコンでも声でお知らせします。
 お年寄りやお子様にも、耳で聞いて確認できるわかりやすい設計です。
 (音声ガイドをやめたり、音量を変更したりすることもできます。(P31,32))



よく使う操作はワンタッチでOK



リモコン操作を文字でお知らせします <文字ガイド>

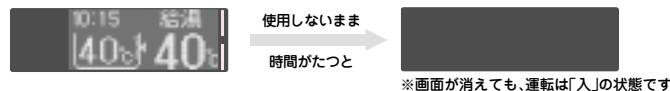
操作の内容を文字でお知らせします。 また、運転の状態を文字でお知らせします。



リモコンの無駄な電力消費を防ぐ <表示の節電>

リモコンの無駄な電力消費を防ぐため、また画面の焼付防止のため、機器を使用しないまま約10分(浴室リモコンはおふろの機能を使った場合約1時間)たつと、画面表示が消えて、運転ランプのみ点灯します。

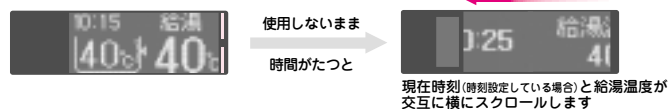
表示の節電の場合の画面の変化 ▶▶▶▶▶



再使用したり、いずれかのスイッチを押すと、再び表示します。

※なお、画面を消さないようにすることもできますが(P31,32)、表示の節電の設定をおすすめします。
 表示の節電を設定しない場合は、画面の焼付防止のため、機器を使用しないまま約10分(浴室リモコンはおふろの機能を使った場合約1時間)たつと画面の状態が変わります。再使用したり、いずれかのスイッチを押すと、元の画面に戻ります。

表示の節電をしない場合の画面の変化 ▶▶▶▶▶



細かい設定は「設定スイッチ」で

ふろ温度・ふろ湯量の設定や、おふろのお湯を増やすとき(足し湯(たっぷり))、おふろのお湯をぬるくするとき(さし水(ぬるく))、おふろの沸き上がり時刻を予約するときなどは、まず「設定スイッチ 設定」でおこないたい操作を選び、それぞれを設定してください。(詳しくは本文の操作説明をお読みください)



必ずお守りください(安全上の注意)

安全に正しくお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

■危害・損害の程度による内容の区分

⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容を示しています。

■注意・禁止内容の絵表示

	感電注意		禁止
	高温注意		火気禁止
	アース必要		接触禁止
			分解禁止
			ぬれ手禁止

⚠危険

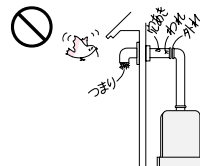
ガス漏れ時の処置



ガス漏れに気づいたときは、次の1～3の処置が終わるまでの間、絶対に

- 火をつけない。
 - 電気器具(換気扇など)のスイッチの入・切や、電源プラグの抜き差しをしない。
 - 周辺の電話も使用しない。
- 火や火花で引火し、火災のおそれがあります。
1. すぐに使用をやめ、機器のガス栓を閉じる。
 2. 窓や戸を開け、ガスを外へ出す。
 3. 販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する。

排気筒の外れ、穴あき、つまり



- 排気筒が外れていたり、穴があいていないか確認してください。
 - 排気筒トップに鳥などの巣ができていたり、ゴミなどがつまったりしていないか確認してください。
- 排気ガスが室内に漏れて、一酸化炭素中毒の原因になります。

警告

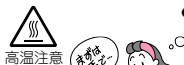
異常時・緊急時の処置

1. 給湯栓を開める。
2. 運転スイッチを「切」にする。
3. ガス栓・給水元栓を開める。



●異常時(排気筒トップから煙が出る、こげ臭いなど)または、地震・火災などの緊急の場合は上記の処置をし、すぐに販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。
火災・感電・故障などの予防のため。

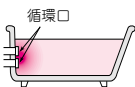
やけどに注意



●シャワーなどお湯を使用するときは、手でお湯の温度を確かめてから使用してください。
やけど予防のため。



●入浴の際には、手でお湯の温度を確認してから入浴してください。
やけど予防のため。



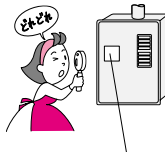
●おふろ沸かし(沸かし直し)・追いだきのときは、循環口付近はあつくならない場合がありますのでご注意ください。

お湯の中にもぐらない



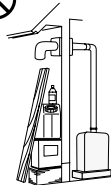
●お湯の中にもぐったり、循環口のフィルターをはずして使用しないでください。
運転中に体の一部や髪の毛などが吸い込まれて、おぼれたり、けがをするおそれがあります。

使用ガス、電源の確認



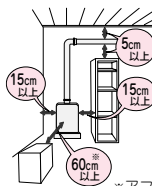
●銘板(ラベル)に表示しているガスの種類以外では使用しないでください。
表示以外のガスで使用する、異常な燃焼・点火の時の爆発などの原因になります。
●電源はAC100V、50Hzまたは60Hz用です。
他の電源で使用する、火災・感電の原因になります。
●わからない場合は、販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

火災の予防



●機器や排気筒トップのまわりに燃えやすい物(洗濯物・新聞紙・木材・灯油・スプレー缶など)を置かないでください。
火災の原因になります。

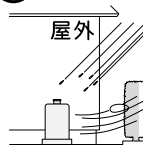
周囲の防火措置について



●機器や排気筒のまわりに燃えやすい物(木材・棚・カーテンなどの布・箱など)がある場合は、最低限必要な距離をとってください。
火災予防のため。
※アフターサービス上の寸法です。

警告

屋外設置の禁止



●この機器は屋内設置形です。屋外への設置は絶対にしてしないでください。
雨水が侵入したり、炎が風にあおられたりして、故障や火災の原因になります。

建物の給気口のつまり



●建物の給気口にゴミなどがつまっている場合は取り除いてください。
不完全燃焼の原因になります。

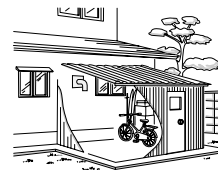
機器・リモコンの分解禁止



分解禁止

●機器・リモコンは絶対に分解しないでください。
故障の原因になります。

波板囲いなどの禁止



●増改築などによって、排気筒トップを屋内状態にしないでください。また、波板などによって囲いをしないでください。
一酸化炭素中毒・火災の原因になります。

製品の設置・移動工事は

●製品の設置・移動及び付帯工事は、販売店に依頼し、安全な位置に正しく設置して使用してください。
思わぬ事故を予防するため。

注意

機器のまわりはきれいに

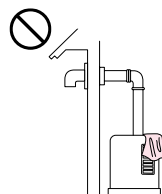
●機器のまわりはいつもきれいにしておいてください。
まわりが雑草、木くず、箱などで雑然していると、機器の内部にゴミが侵入したりクモの巣がはったりして、機器の損傷や火災の原因になることがあります。

用途について

●台所・お風呂などの給湯、シャワー、お風呂を沸かす以外の用途には使用しないでください。
思わぬ事故を予防するため。
●機器や配管内に長時間まっていた水は、飲用または調理に用いず雑用水としてお使いください。

⚠️ 注意

給気フィルターのつまり



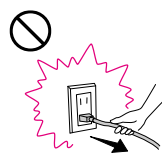
- 給気フィルターはものなどでふさがなくてください。
 - 給気フィルターがゴミやほこりなどでふさがれていないか確認してください。
- 不完全燃焼の原因になります。

やけどに注意



- 排気筒トップや排気筒のまわりは、使用中や使用後はしばらくは高温です。手を触れないでください。
- やけど予防のため、特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

抜き差しはプラグを持って



- 電源プラグの抜き差しは、プラグを持っておこなってください。
- コードを持って抜くと芯線の一部が断線して、発熱・火災の原因になります。

感電に注意



- 電源プラグは、ぬれた手でさわらないでください。
- 感電の原因になります。

アースの確認



アースする！

- この機器には、アースが必要ですので確認してください。
- 機器が故障した場合、感電の原因になります。
- アースがされていない場合は、販売店または、もよりの大阪ガスにご相談ください。

電源プラグは確実に



- 電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、ガタつきのないように根元まで確実に差し込んでください。
- ほこりが付着したり接続が不完全な場合は、感電や火災の原因になります。

ヘアースプレーなどの禁止

- 機器の近くでヘアースプレーやスプレー洗剤などの使用はしないでください。
- 故障の原因になります。

乾電池に関する注意(お願い)

- 機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処置を依頼してください。
- もしお客様で旧機器の処置をされる場合、乾電池を使用している機器は、乾電池を取り外してから正規の処置をしてください。

お願い

雷が発生しはじめたら



電源プラグを抜く



ぬれ手禁止



感電注意

- すみやかに運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。(またはブレーカーを落としてください)
- 雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。雷がやんだあとは電源プラグをコンセントに差し込み、時計を合わせてください。

- ※テレビリモコンをお使いの場合、アンテナからの誘導雷の被害は防ぐことはできませんので、保安器(避雷器)を設置してください。
- ※冬期は、電源プラグを長時間抜くと凍結のおそれがあります。



停電時の処置

- 停電したときは、運転が停止します。
- 停電後、設定した現在時刻がリセットする場合がありますので確認してから使用してください。(電源プラグを抜いたときも同じです。)

お風呂沸かし時の注意



- 浴そうの循環口を、タオルなどでふさいだり、穴にものを詰めたりしないでください。
- 循環不良になり、お風呂沸かしができません。

入浴剤や洗剤の注意

- 硫黄(イオウ)・酸・アルカリを含んだ入浴剤や洗剤は使用しないでください。
- 入浴剤や洗剤は注意文を充分にお読みになってからお使いください。
- 機器の熱交換器が腐食する原因になります。



- 入浴剤を使用して追いだきした時に、沸き上がり音や振動する音が出る場合は、それ以降その入浴剤の使用をやめてください。

リモコンについて



- リモコンの掃除には、ベンジンや塩素系の洗剤を使わないでください。
- 変形する場合があります。
- 浴室リモコン・防水型増設リモコンは防水型ですが、故意に水をかけないでください。
- 故障の原因になります。
- (台所リモコン・増設リモコンは防水型ではありません。)
- 台所リモコン・増設リモコンに炊飯器、電気ポットなどの蒸気を当てないでください。
- 故障の原因になります。

排気ガスについて

- 排気ガスが直接建物の外壁や窓、アルミサッシ(網入りガラスなど)に当たらないように設置してください。
- 増改築時も同様に注意してください。
- ガラスが割れたり、変色する原因になります。

ガス事故防止

- 使用時の点火、使用後の消火を確認してください。

お願い

太陽熱温水器との接続禁止

(ソーラー対応ミキシングユニット<スカイブレNDER>を使用する場合は除く)

- 太陽熱温水器とは絶対に接続しないでください。お湯の温度制御ができなくなり、高温のお湯が出るなど、やけどの危険性が高くなります。また機器の故障の原因にもなります。

長期間使用しない場合

- 長期間使用しない場合、凍結および万一のガス漏れを防止するため、必要な処置をしてください。(P34)

積雪時の注意

- 積雪時には排気筒トップと建物の給気口の点検、除雪をおこなってください。積雪や屋根から落ちた雪により、排気筒トップと建物の給気口がふさがれて不完全燃焼し、機器の故障の原因になることがあります。

凍結に注意

- 冬期は、凍結による機器の破損予防のため必要な処置をしてください。(P33,34) 凍結すると、水漏れや故障の原因になります。

この製品は一般家庭用です

- 業務用のような使い方をされると、製品の寿命を短くします。この場合の修理は、保証期間内でも有料となります。

市販の補助用具使用について

- この機器の純正部品以外は使用しないでください。思わぬ事故を予防するため。

結露現象に注意

- 水を出すときには、給湯器の運転スイッチ「切」の状態でお湯側より水を出すことはしないでください。シングルレバー混合水栓の場合は、レバーを完全に水側にセットしてから水を出してください。
- お湯を出すときには、給湯器の運転スイッチが「入」であることを確認してお湯を出してください。運転スイッチ「切」の状態でお湯側より水を出すと、熱交換器内に結露現象が発生し、不完全燃焼の原因となったり、電気部品の損傷につながります。

日常のお手入れ

- 浴そう、洗面台はこまめに掃除してください。湯アカが残っていると、水中に含まれるわずかな銅イオンと、せっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応して、青く変色することがあります。
- 浴そうのフィルターはこまめに掃除してください。ポンプ故障の予防のため。

温泉水、井戸水、地下水で使わない

- 水質によっては、機器内の配管内部に異物が付着したり、腐食して水漏れすることがあります。この場合は保証期間内でも有料修理になります。

特監法対象製品です

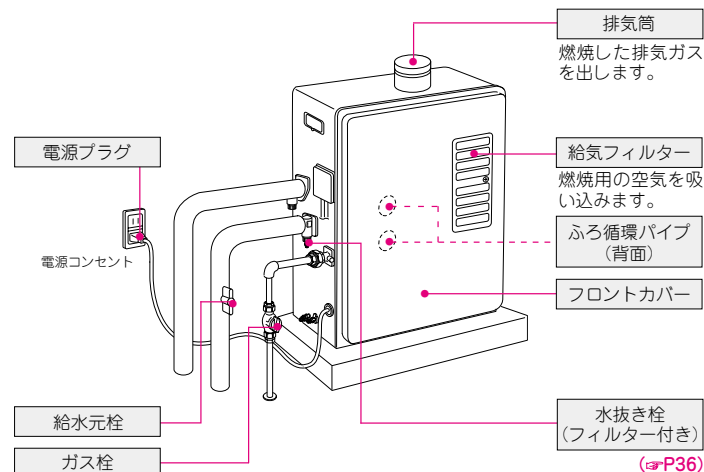
- この製品の設置工事及び変更工事は、法律(特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律)に基づいておこない、工事完了後機器と排気筒に法定のステッカーを貼り付けることになっていますので確認してください。

各部のなまえとはたらき(機器本体)

機器本体

【屋内設置形(浴室隣接設置形)】

※一酸化炭素濃度検出装置(COセンサー)内蔵です。
不完全燃焼を感知し、自動的に燃焼を停止させます。



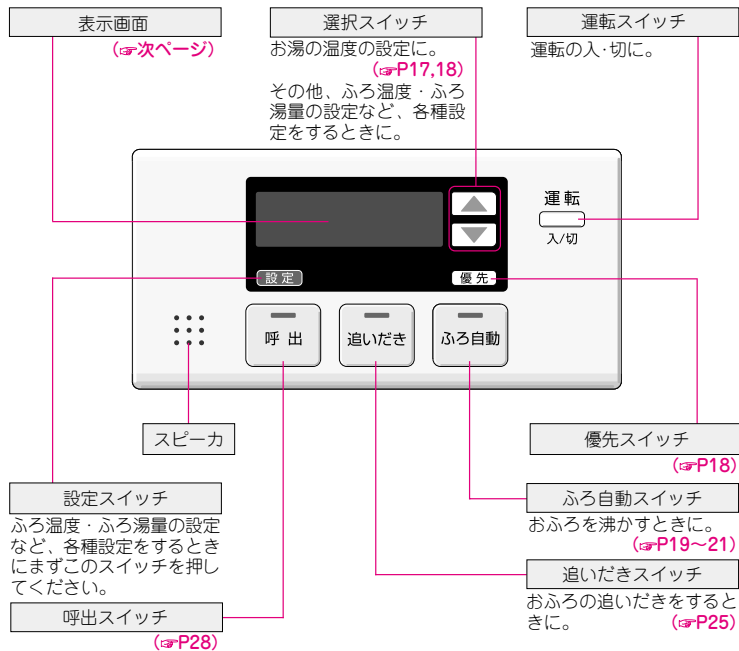
※上のイラストは施工例です。

配管の形状、給水元栓・ガス栓・電源コンセントの位置など実際と異なります。

各部のなまえとはたらき(リモコン-1)

浴室リモコン<別売品>

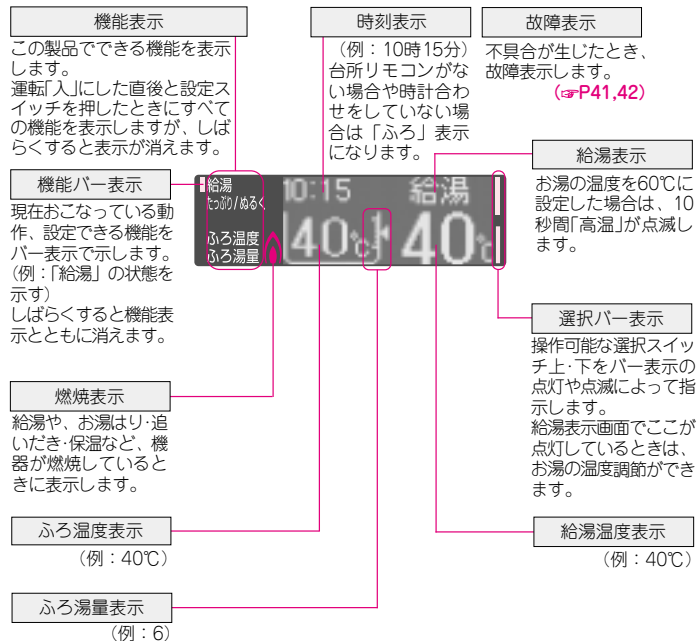
(浴室に取り付けます)



その他の別売品リモコンをお使いの場合は、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

表示画面

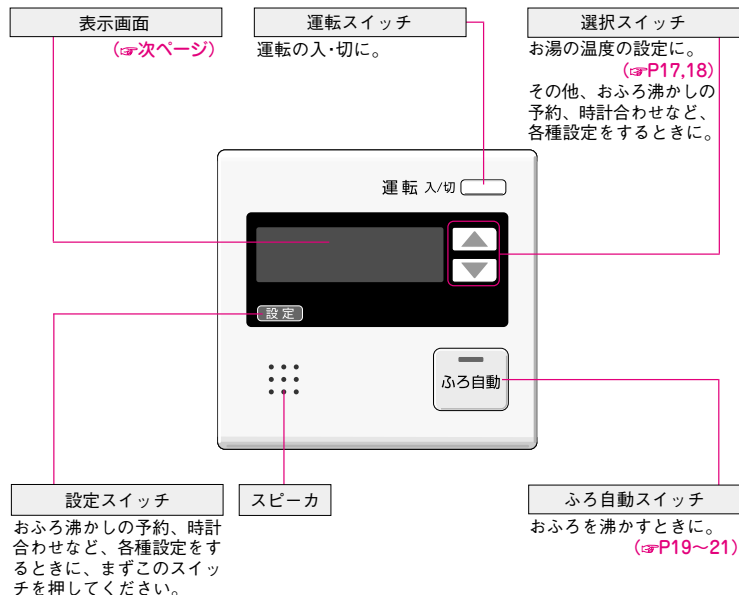
下記の表示画面は説明のため、基本的なもののみ表示したものです。実際の運転のときは、運転の状態によって異なる表示をします。(使いかたの各ページ参照)



各部のなまえとはたらき(リモコン-2)

台所リモコン<別売品>

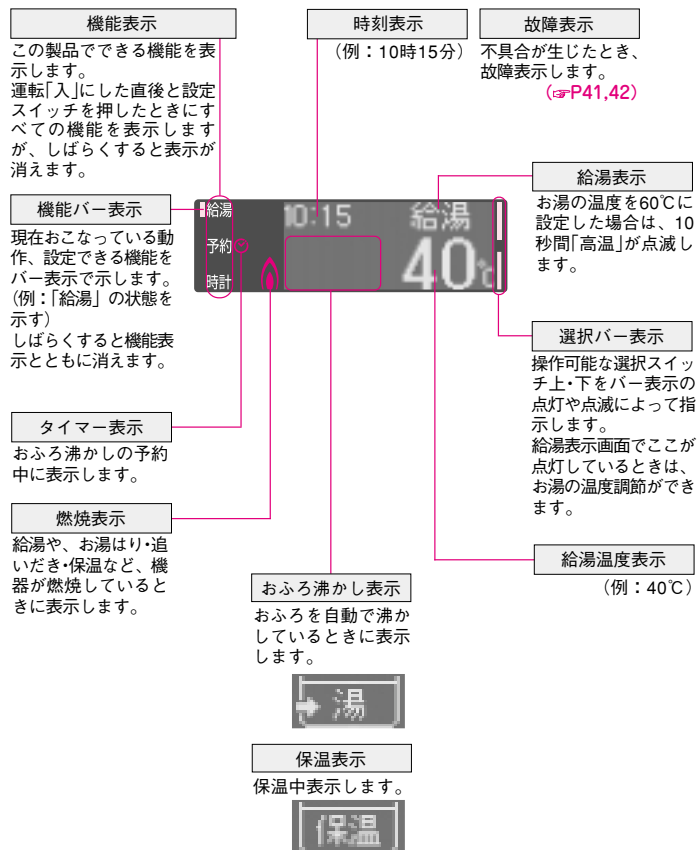
(台所などに取り付けます)



その他の別売品リモコンをお使いの場合は、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

表示画面

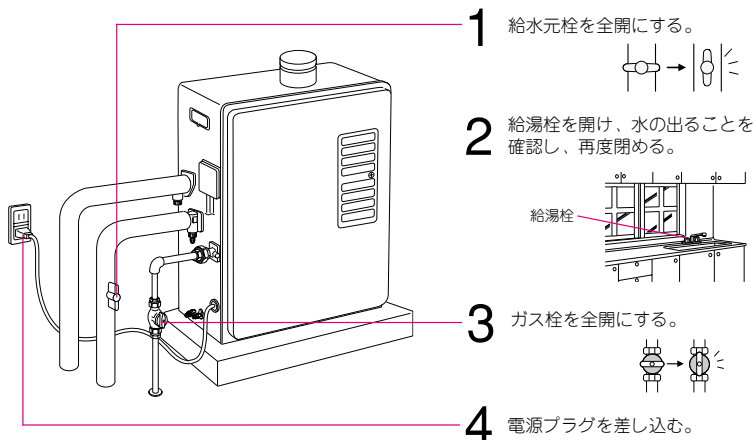
下記の表示画面は説明のため、基本的なもののみ表示したものです。
実際の運転のときは、運転の状態によって異なる表示をします。(使いかたの各ページ参照)



初めてお使いになるときは

初めてお使いになるときは、次の準備と確認が必要です。

1～5の手順でおこなってください。

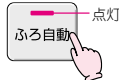


5 ポンプの呼び水をする。
※浴室リモコンで操作してください

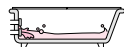
① 運転スイッチを「入」にする



② ふろ自動スイッチを「入」にする



③ 浴そうの循環口から水が出てくることを確認する



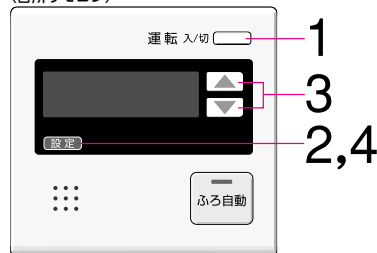
リモコンの表示が消えて故障表示 が出たときは、運転スイッチをいったん「切」にし、もう一度①よりやり直してください。

④ ふろ自動スイッチを「切」にする

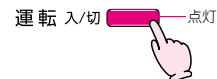


時計を合わせる (台所リモコンがある場合)

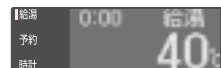
(台所リモコン)



1 台所リモコンの運転スイッチを「入」にする



♪運転「入」音が鳴ります。



2 設定スイッチを押してバー表示を「時計」の位置にする



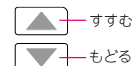
設定スイッチを押すごとに順にバー表示が移動します

🔊“時刻が変更できます”



バー表示＝「時計」

3 選択スイッチで 現在時刻を設定する

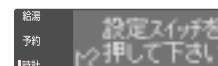


一度押すごとに1分ずつ、押し続けると10分ずつ変わります。

🔊“よければ設定スイッチを押してください”



設定時刻

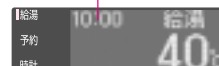


4 設定スイッチを押して給湯表示画面に戻す



🔊“設定されました”

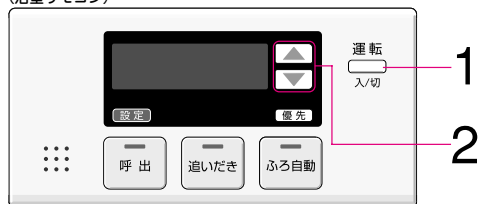
設定時刻



時計合わせをしていない場合、浴室リモコンでは時刻表示のかわりに「ふろ」を表示します。

使いかた お湯を出す/お湯の温度を調節する

(浴室リモコン)



ここでは浴室リモコンでご説明します

<運転スイッチ「切」のとき>

1 運転スイッチを「入」にする

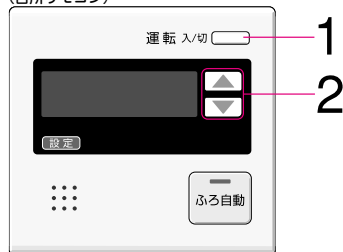


♪運転「入」音が鳴ります。



前回に設定した給湯温度
(例: 40°C)

(台所リモコン)



警告



やけど予防のために。

高温注意

●シャワーを使用するときは、いきなり体や顔にかけず、リモコンの給湯温度を確認し、手で湯の温度を確認してから使用してください。

●60℃に設定したときは、
・“あついお湯が出ます”
・約10秒間の高温表示が点滅でお知らせします。

●表示の温度をよく確かめてから使用してください。
60℃の高温で使ったあと、あらためて使用するときには特に注意してください。

※表示節電がはたらいて画面表示が消えている場合(※P2)、給湯栓を開けると再び画面表示しますので、給湯温度をよく確かめてから使用してください。

●シャワーなどお湯を使用中のとき、他の人はお湯の温度を変更しないでください。

●シャワーなどお湯を使用中のとき、他の人は「優先」を切り替えないでください。切り替えた場合の前回設定した温度に変わります。



約10秒間 点滅・点灯

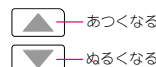


浴室リモコン表示画面

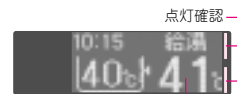


<一度設定すると記憶します>

2 選択スイッチで給湯温度を調節する
(変更しないときは温度を確認する)



🔊“給湯温度が変更されました”



変更した給湯温度

3 給湯栓を開ける



燃焼中 点灯

4 給湯栓を閉める



消灯

(℃: 目安の温度ですので、季節や配管の長さなどの条件により、実際の温度とは異なります。)

32	35	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	60
食器洗いなど	シャワー、給湯など													高温

※初期設定(工場出荷時)=40℃

お湯の温度の調節ができない場合は、以下の操作をしてください

	湯温調節できない状態	湯温調節するには(優先切替)	湯温調節できる状態
浴室リモコン	点灯していない 🔊“優先スイッチを押してください”	優先スイッチを「入」にする 点灯 → 優先 🔊“給湯温度が変更できます”	点灯 🔊“給湯温度が変更されました” 🔊“あついお湯が出ます”(60℃時) 等お知らせします。 ※温度表示は例です。
台所リモコン	点灯していない 🔊“浴室優先です”	運転スイッチを一度「切」にし、再度「入」にする 運転 入/切 消灯 → 点灯 ※ふろ運転中にこの操作をするとふろ運転が停止します。	点灯

各リモコンで設定温度がそれぞれ違っていったときは、優先切り替え時に
🔊“給湯温度が変更されました”
🔊“あついお湯が出ます”(60℃時)
等お知らせします。
※温度表示は例です。

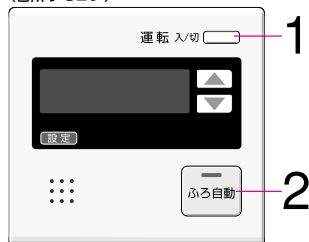
使いかた

おふろを自動で沸かす-1

(浴室リモコン)



(台所リモコン)



ここでは浴室リモコンでご説明します

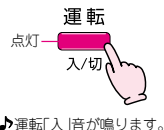
<運転スイッチ「切」のとき>

運転前の準備

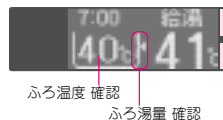
1. 浴そうの排水栓を閉める。
2. 浴そうの下部循環口に、フィルターが付いていることを確かめる。
3. 浴そうのふたをする。



1 運転スイッチを「入」にする



♪運転「入」音が鳴ります。



ふろ温度 確認

ふろ湯量 確認

ふろ温度・湯量の変更のしかた

23～24ページ参照



警告

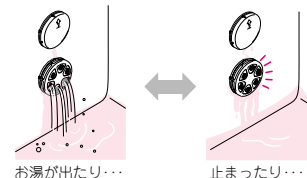


やけど予防のために。

お湯はり中に、台所やシャワーなどでお湯を使用すると、ふろ設定温度のお湯が出ます。お湯はりが終わると給湯設定温度のお湯が出ますので、給湯を高温に設定しているときはご注意ください。

故障ではありません

ふろ自動スイッチを押すと、しばらくは浴そうの循環口からお湯が出たり止まったりします。残り湯の量を確認しているため、故障ではありません。



お湯が出たり...

止まったり...

(次ページへ)

2 ふろ自動スイッチを「入」にする



🔊“お湯はりをします”

1) お湯はりを開始します。



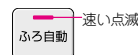
ふろ温度・ふろ湯量が 交互に点滅 (10秒間)

2) お湯はりがおわると、追いかします。



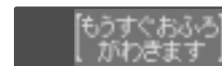
お湯はり中、追いか 表示

3) 入浴できる状態に近づく、ラングが速い点滅に変わります。



♪ビビビ音でお知らせ

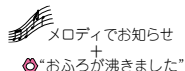
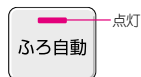
🔊“もうすぐおふろが沸きます”



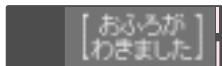
おふろを自動で沸かす-2

(前ページより)

沸き上がり



約4時間、自動追いき保温を続けます。
※保温時間は変更できます。(P31,32)



保温燃焼中 点灯

- ・途中でおふろ沸かしをやめたいとき
- ・沸き上がり後、自動追いき保温の必要がないとき

ふろ自動スイッチを「切」にする。(ランプ消灯)



残り湯を沸かし直す

残り湯の沸かし直しは、「おふろを自動で沸かす」(P19~21)と同じ操作でおこなってください。
残り湯の量によって、沸き上がりの状態が違うのでご注意ください。

残り湯を沸かし直すときの注意

<残り湯が 下部循環口より下にある場合>



残り湯の分だけ沸き上がり量が増えます。

<残り湯が 下部循環口より上で、設定温度より約5℃以上低い場合>



設定湯量の不足分を足し湯し、設定温度まで沸き上げます。
沸き上がり量は多少ばらつきます。

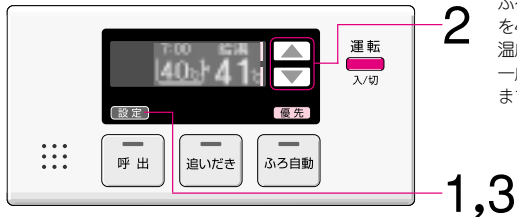
<残り湯が 下部循環口より上で、設定温度より約5℃以内の場合>



約10%足し湯し、設定温度まで沸き上げます。
沸き上がり量は残り湯の量により、設定湯量にならない場合があります。

ふろ温度を調節する

(浴室リモコン)



ふろ温度は、初期設定(工場出荷時)を40℃にしてありますが、お好みの温度に変更することができます。一度設定した温度は、次回変更するまで記憶しています。

※運転スイッチ「切」のときは必ず「入」にしてください。

1 設定スイッチを押してバー表示を「ふろ温度」の位置にする

設定スイッチを押すことに順にバー表示が移動します

Ⓜ “ふろ温度”が変更できます”

しばらく点滅

バー表示=「ふろ温度」

ふろ温度 (例: 40℃)

2 選択スイッチでふろ温度を調節する

ふろ温度を変更すると、

Ⓜ “よければ設定スイッチを押してください”

ふろ温度

3 設定スイッチを押して給湯表示画面に戻す

Ⓜ “設定されました”

給湯 42.0 41.0

ふろ温度 42.0 41.0

最後に設定スイッチを押し忘れた場合でも、2の段階で変更したままで確定されます。

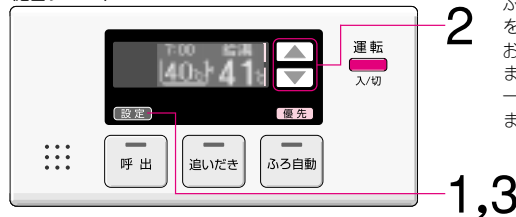
(℃: 目安の温度ですので、季節や配管の長さなどの条件により、実際の温度とは異なります。)

37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
ぬるめ				ふつう					あつめ		

※初期設定(工場出荷時)=40℃

ふろ湯量を調節する

(浴室リモコン)



ふろ湯量は、初期設定(工場出荷時)を「6」(200ℓ)にしてありますが、お好みの湯量に変更することができます。一度設定した湯量は、次回変更するまで記憶しています。

※運転スイッチ「切」のときは必ず「入」にしてください。

1 設定スイッチを押してバー表示を「ふろ湯量」の位置にする

設定スイッチを押すことに順にバー表示が移動します

Ⓜ “ふろ湯量”が変更できます”

しばらく点滅

バー表示=「ふろ湯量」

ふろ湯量 (例: 6)

2 選択スイッチでふろ湯量を調節する

ふろ湯量を変更すると、

Ⓜ “よければ設定スイッチを押してください”

ふろ湯量

3 設定スイッチを押して給湯表示画面に戻す

Ⓜ “設定されました”

給湯 42.0 41.0

ふろ湯量 42.0 41.0

最後に設定スイッチを押し忘れた場合でも、2の段階で変更したままで確定されます。

ふろ湯量表示	設定湯量	浴槽の大きさ(目安)
11	330ℓ	
10	300ℓ	1600タイプ
9	270ℓ	
8	245ℓ	1400タイプ
7	220ℓ	
6	200ℓ	1200タイプ
5	180ℓ	1100タイプ
4	165ℓ	900タイプ
3	150ℓ	800タイプ
2	140ℓ	洋バス
1	130ℓ	

※初期設定(工場出荷時)=6

おふろの追いだきをする

(浴室リモコン)

おふろの追いだきができます。



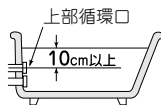
1



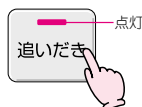
※運転スイッチ「切」のときは必ず「入」にしてください。

運転前の準備

浴そうの上部循環口センターより10cm以上お湯(または水)が入っているか確認する。



1 追いだきスイッチを「入」にする



◎「追いだきをします」

お湯の温度がふろ設定温度より低い場合は設定温度まで、お湯の温度がふろ設定温度以上のお湯の温度+約1℃まで、追いだきします。(最高50℃まで)



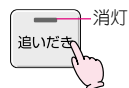
追いだき燃焼中 表示

追いだきが終わると、自動的に止まります。(ランプ消灯)

※追いだき中に温度を変更したい場合は、「ふろ温度を調節する」(P23)の手順で変更してください。

追いだきを途中でやめたいとき

もう一度、追いだきスイッチを押す。(ランプ消灯)



●「おふろの追いだき」は、おふろの自動沸かし中は使用できません。

おふろのお湯を増やす(足し湯《たっぷり》)

◎：女性の声でお知らせ

(浴室リモコン)

おふろのお湯の量が、約20%増えます。

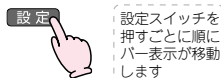


2
1

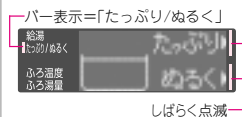


※運転スイッチ「切」のときは必ず「入」にしてください。

1 設定スイッチを押してバー表示を「たっぷり/ぬるく」の位置にする



◎「足し湯またはさし水ができます」



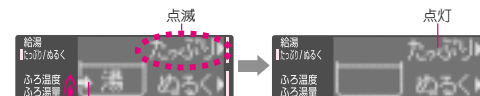
しばらく点滅

2 選択スイッチ(上)で「たっぷり」を選ぶ



◎「足し湯をします」

お湯を約20%足し湯し、自動的に止まります。(お湯の温度はふろ設定温度です。)



足し湯燃焼中 表示

※「足し湯」中に設定スイッチを押すと給湯表示画面に戻ります。

※しばらくすると給湯表示画面に戻ります

足し湯(たっぷり)を途中でやめたいとき

もう一度、選択スイッチ(上)を押す。(1の画面に戻る)



設定スイッチを押すと給湯表示画面に戻ります。

- 「足し湯」中に台所やシャワーなどでお湯を使うと、ふろ設定温度のお湯が出ます。
- 「足し湯」は、おふろの自動沸かし中は使用できません。

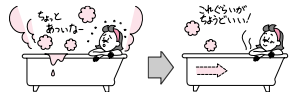
使いかた

お風呂のお湯をぬるくする(さし水《ぬるく》)

(浴室リモコン)



お風呂のお湯の温度を下げるができます。



※運転スイッチ「切」のときは必ず「入」にしてください。

1 設定スイッチを押して バー表示を「たっぷり/ぬるく」 の位置にする



設定スイッチを
押すごとに順に
バー表示が移動
します

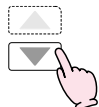
④「足し湯またはさし水ができます」

バー表示＝「たっぷり/ぬるく」



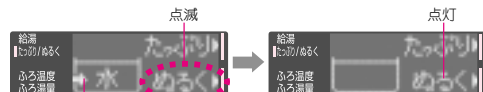
しばらく点滅

2 選択スイッチ(下)で「ぬるく」を選ぶ



④「さし水をします」

10%の水がはいり、ふろ設定温度のお湯が約3%はいつてから停止します。



さし水(「ぬるく」運転)中 点滅

※燃焼表示がつくことがあります。

※「さし水」中に設定スイッチを押すと給湯表示画面に戻ります。

＜さし水(ぬるく) 終了＞

※しばらくすると給湯表示画面に戻ります

さし水(ぬるく)を途中でやめたいとき

もう一度、選択スイッチ(下)を押す。(給湯表示画面に戻る)



※ふろ設定温度のお湯が約3%はいつてから停止します。

設定スイッチを押すと給湯表示画面に戻ります。

- 「さし水」は、お湯の使用または「お風呂の自動沸かし」のお湯はり中は使用できません。
 - 「さし水」中に台所などの給湯栓を開けると、「さし水」は中止されます。
- その場合、しばらくは「さし水」の表示画面のままになっているため、給湯温度の確認ができません。給湯温度を高温に設定しているときは特に注意してください。

使いかた

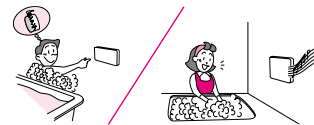
浴室から台所リモコンのチャイムを鳴らす

(台所リモコンがある場合)

(浴室リモコン)



浴室にいるときに、何か必要な物があつたり気分が悪くなつて人を呼びたいとき、呼出スイッチで知らせることができます。(インターホンではないので会話はできません)



呼出スイッチを押す



呼び出し音でお知らせ

④「お風呂で呼んでいます」(台所リモコン側)



押し続けると、手を離すまで呼び出し音をくりかえします。

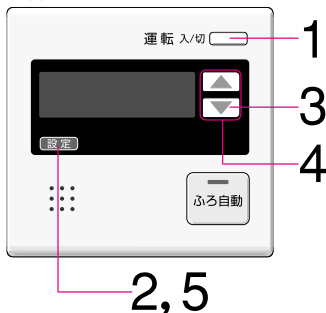
●呼出スイッチは運転スイッチの「入・切」に関係なく使用できます。

使いかた

おふろの沸き上がり時刻を予約する

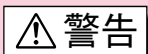
(台所リモコンがある場合)

(台所リモコン)



沸き上がり時刻の60分前までは予約してください。
(約30～60分前におふろ沸かしを開始するため)

予約する時刻は、沸き上がり時刻です。(運転を開始する時刻ではありません)



警告

やけど予防のために。



高温注意

お湯はり中に、台所やシャワーなどでお湯を使用すると、ふろ設定温度のお湯が出ます。
お湯はりが終わると給湯設定温度のお湯が出ますので、給湯を高温に設定しているときはご注意ください。

- 運転スイッチ「切」にしても予約運転します。
- 前日などの残り湯(水)があるとき、または、予約したおふろ沸かし中に給湯を使用すると、沸き上がり時刻が遅れる場合があります。

運転前の準備

1. 浴そうの排水栓を開める。
2. 浴そうの下部循環口に、フィルターが付いていることを確かめる。
3. 浴そうのふたをする。
(お湯はり時に、お湯が飛び散ることがあります)
4. 沸き上がり時のふろ温度とふろ湯量を確認する。
(設定スイッチで確認) **☞P23,24**
5. 現在時刻が正しいかどうかを確認する。
(「時計を合わせる」) **☞P16**

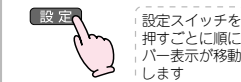
＜運転スイッチ「切」のとき＞

1 運転スイッチを「入」にする

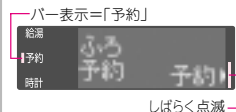
運転 入/切 点灯

♪運転「入」音が鳴ります。

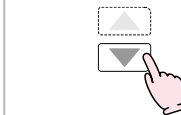
2 設定スイッチを押してバー表示を「予約」の位置にする



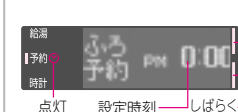
🔊“ふろ自動の予約ができます”



3 選択スイッチ(下)を押す



🔊“時刻が変更できます”



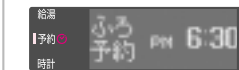
以前に4で予約時刻を設定しているとき、その時刻を表示します。

＜一度設定すると記憶します＞

4 選択スイッチで沸き上がり時刻を設定する(時刻変更しない場合5へ)



一度押すごとに10分ずつ、押し続けると1時間ずつ変わります。

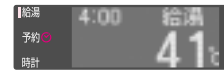


🔊“よければ設定スイッチを押してください”

5 設定スイッチを押して給湯表示画面に戻す



🔊“予約されました”



最後に設定スイッチを押した忘れていた場合でも、4の段階で変更したままで確定されます。

現在時刻を設定していない場合は、沸き上がり時刻設定のあと続けて現在時刻の設定に入ります。「時計を合わせる」(☞P16)の3～4の要領で現在時刻を設定してください。

おふろ沸かしが始まる前に

- ・予約時刻を確認したい
- ・予約をやめたいとき
- ・予約時刻を変更したい

①設定スイッチを押し、

🔊“予約されています”

バー表示



②選択スイッチ(下)で解除する。

🔊“予約が解除されました”

③上記1～4の手順で、

とき(下記①のみ)
(下記①～②)
とき(下記①～③)

「予約」にバー表示を移動させる。

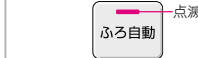
除する。



設定しなおす。

おふろ沸かし開始

予約した時刻におふろが沸き上がるように、約30～60分前に自動運転を開始します。



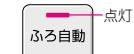
お湯はり中、追いだき中 点灯

おふろ沸かしが始まったあとでおふろ沸かしをやめたいとき

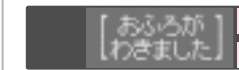
ふろ自動スイッチを押す。
(ランプ消灯)



沸き上がり



🔊“おふろが沸きました”



約4時間、自動追いだき保温を続けます。
※保温時間は変更できます。
(☞P31,32)



保温燃焼中 点灯

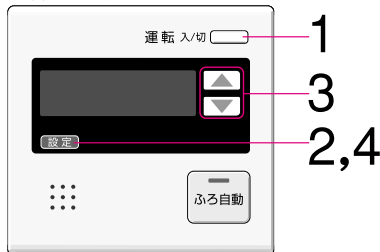
使いかた

各設定を変更する (おふろの保温時間、リモコンの音量・音声ガイド・表示の節電)

(浴室リモコン)



(台所リモコン)



次のような設定の変更ができます

おふろの保温時間	浴室リモコン・台所リモコンのどちらでも変更できます
リモコンの音量	それぞれのリモコンで設定してください
リモコンの音声ガイド	それぞれのリモコンで設定してください
リモコンの表示の節電	それぞれのリモコンで設定してください

1 運転「切」にする

運転「切」の状態でのみ、各設定の変更ができます。

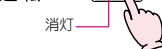
浴室リモコン

運転



台所リモコン

運転 入/切



♪運転「切」音が鳴ります。

2 設定スイッチを押す

押すごとにそれぞれの設定に切り替わります。

次ページ 2

3 選択スイッチで変更する

それぞれの変更をします。

次ページ 3

4 設定が完了すれば設定スイッチを押す

続けて他の設定を変更する場合は、再度2～4の手順で変更してください。

そのまま機器を使用する場合は、運転スイッチを押して「入」にしてください。

使用しない場合は、そのまま30秒放置しておくことで運転「切」の状態に戻ります。

＝初期設定 (工場出荷時)

2 設定スイッチを押す (押すごとに切り替わります)



音量が変更できます



操作音が変更できます



表示が変更できます



3 選択スイッチで変更する

(単位:時間)									
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

保温なし

なし	小	中	大
----	---	---	---

※「なし」の設定でも「呼び出し音」(P28)は鳴ります。

あり	操作音と声でお知らせします
なし	操作音のみでお知らせします

※操作音と声の両方とも鳴らさないようにするには、音量を「なし」に設定してください。
(音量「なし」の設定でも「呼び出し音」(P28)は鳴ります。)

する (こちらを推奨します)	無駄な電力消費を防ぐため、また画面の焼付防止のため、機器を使用しないまま約10分(浴室リモコンはおふろの機能を使った場合約1時間)たつと画面表示が消えます。(運転ランプのみ点灯)再使用したり、いずれかのスイッチを押すと再び表示します。(P2)
しない	運転「入」の状態ならば、画面表示は消えません。(画面の焼付防止のため、機器を使用しないまま約10分(浴室リモコンはおふろの機能を使った場合約1時間)たつと画面の状態が変わりますが、再使用したり、いずれかのスイッチを押すと再び表示します。)(P2)

凍結による破損を予防する

冬期には機器や配管内の水が凍結し、破損することがありますので、以下の方法で凍結を予防する必要があります。

通常の寒さのとき [外気温が-15℃までで無風のとき]

給湯側もふろ側も、自動的に凍結予防します。

※電源プラグを抜くと作動しないため、電源プラグは抜かないでください。

※運転スイッチ「入・切」に関係なく作動します。

給湯側	気温が下がってくると、凍結予防ヒーターが自動的に作動して機器内を保温し、凍結を予防します。	凍結予防ヒーターでは、給水・給湯配管や、給水元栓及びふろ配管などの凍結は予防できません。
ふろ側	<浴そうの下部循環口より上に水がないとき> 凍結予防ヒーターで凍結予防します。(上記「給湯側」参照)	必ず保温材または、電気ヒーターを巻くなどの処置をしてください。 (わからないときは、販売店に確認してください。)
	<浴そうの下部循環口より上に水があるとき> ポンプで自動的に浴そうの水を循環させて、凍結を予防します。 ※水が上部循環口センターより10cm以上ある状態にしてください。	 水がないとポンプが空運転し、機器から大きな音が発生する場合があります。

低温注意報が発令されたときや、冷え込みが厳しいとき

給湯側は以下の要領で、通水による凍結予防をしてください。

ふろ側は自動的に凍結予防します。

※電源プラグを抜くと作動しないため、電源プラグは抜かないでください。

給湯側	1. 運転スイッチを「切」にする。 2. ガス栓を開める。 3. おふろの給湯栓を開いて、少量の水(1分間に約400cc・・・太さ約4mm)を流したままにしておく。 ※サーモ付混合水栓やシングルレバー混合水栓の場合は、最高温度の位置に設定してください。 4. 流量が不安定になることがあるので、約30分後に再度流れる量を確認する。 ※結露現象予防として、運転スイッチ「切」の状態では給湯栓から水を出さないようにお願いしていますが、凍結予防の処置の場合は問題ありません。(※P9) 	●この方法は、機器だけでなく、給水・給湯配管、給水元栓なども同時に凍結予防できます。 ●サーモ付混合水栓やシングルレバー混合水栓の場合は、再使用時の温度設定にご注意ください。 ●やけど予防のため。 ●この処置をしても凍結するおそれのある場合には、次ページの要領で水抜きをおこなってください。
ふろ側	ポンプで自動的に浴そうの水を循環させて、凍結を予防します。 ※水が上部循環口センターより10cm以上ある状態にしてください。 ※運転スイッチ「入・切」に関係なく作動します。	 水がないとポンプが空運転し、機器から大きな音が発生する場合があります。

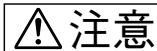
凍結して水が出ないとき

1. ガス栓・給水元栓を開める。
2. 運転スイッチを切り、給湯栓を開ける。
3. ときどき給水元栓を開け、水が出ることを確認する。
4. 水が出るようになって、機器や配管から水漏れがないがよく確認の上使用してください。

- 凍結した場合は、そのままでは絶対に使用しないでください。機器の故障の原因となります。
- 凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

長期間使用しないとき

以下の要領で、水抜きによる凍結予防をしてください。



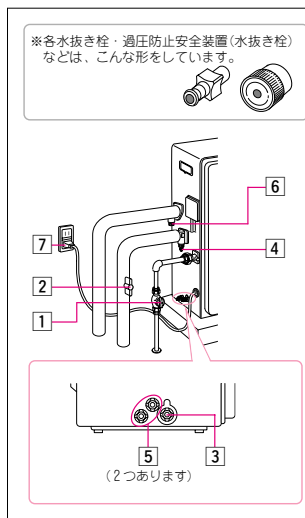
注意



高温注意

お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、機器が冷えてからおこなってください。
やけど予防のため。

水抜き栓などから排水しますので、床にごほれないよう容器などで受けてください。



ガス栓・給水元栓を開める

- 1 ガス栓 [1] を開める。
- 2 給水元栓 [2] を開める。

ふろ側の水抜き

- 3 浴そう内の水を完全に排水する。
- 4 1) 浴室リモコンの運転スイッチを「入」にする。
2) 追いだしスイッチを「入」にし、浴そうの循環口より排水することを確認し、2分程度そのままにする。 注1, 注3
3) 完全に排水したら、運転スイッチを「切」にする。
- 5 水抜き栓 [3] を左に回して開け排水する。 注2

給湯側の水抜き

- 6 すべての給湯栓を全開にする。
- 7 1) すべての水抜き栓 [4] [5] を左に回して開ける。
2) 過圧防止安全装置(水抜き栓) [6] を左に回して開ける。(水抜き栓からお湯又は水が約850cc出ます。)
- 8 1) 浴室リモコンの運転スイッチを「入」にする。
2) ふろ自動スイッチを押し、1分程度そのままにする。 注3
3) 運転スイッチを「切」にする。

最後に

- 9 電源プラグを抜く。ぬれた手でさわらないで
- 10 すべての排水されたことを確認したあと、すべての水抜き栓 [3] [4] [5]・過圧防止安全装置(水抜き栓) [6]・すべての給湯栓を開める。

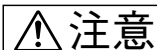
- 注1) ふろ側の水抜きをおこなったあとは、浴そうに水を流し込まないでください。
- 注2) 水抜き栓 [3] を開けたあとは絶対に追いだし運転などのふろ運転をしないで下さい。ポンプ故障の原因になります。
- 注3) リモコンに故障表示(562) (632) を表示する場合がありますが、異常ではありません。

再使用のとき

1. すべての水抜き栓・過圧防止安全装置(水抜き栓)・すべての給湯栓が閉まっていることを確認する。
2. 給水元栓を開ける。
3. すべての給湯栓を開け、水が出ることを確認してから開め、機器や配管から水漏れがないがよく確認する。
4. ガス栓を開け、電源プラグをコンセントに差し込む。
5. ポンプの呼び水をする。(※P15)

日常の点検・手入れのしかた

点 検 (月 1 回程度)



注意



高温注意

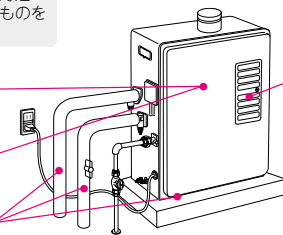
点検・手入れは、運転「切」にしておこなってください。
お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、機器が冷えてからおこなってください。
やけど予防のため。

チェック 機器や排気筒トップのまわりに洗濯物・新聞紙・木材・灯油・スプレー缶など、燃えやすいものを置いていませんか。

チェック 運転中に機器から異常音が聞こえませんか。

チェック 機器の外観に異常な変色や傷はありませんか。

チェック 機器・配管から水漏れはありませんか。



チェック 排気筒トップがほこりなどでふさがっていませんか。

チェック 給気フィルターがほこりなどでふさがっていませんか。

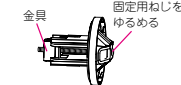
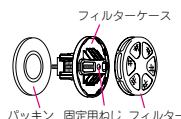
お手入れ (こまめに掃除)

フィルター

1. 浴室内の下部循環口のフィルターを左に回して外す。
2. フィルターを水洗いし、掃除する。
3. フィルターを下部循環口に元どおり取り付け。

フィルターは循環口との間にすまがでできないように取り付けてください。

フィルターを外したまま、または、正常に取り付けられていない状態で使用すると、機器が故障することがありますので、必ず正常に取り付けた状態で使用してください。



【フィルターとフィルターケースが一緒に回ってしまうとき】

1. フィルターケース側に手を添えて、一緒に回らないようしながらフィルターを左に回して外す。
2. フィルターケースを下部循環口に奥まで差し込んだ状態で、フィルターケース中央にある固定用ねじを、フィルターケースが容易に動かなくなるまで右に回し込む。(締めすぎると下部循環口が破損するおそれがありますので、ご注意ください)
3. フィルターケースを元どおり取り付け。

【フィルターがフィルターケースごと下部循環口から外れてしまったとき】

※浴室内の排水栓は開けておいてください。(ねじなどの紛失予防のため)

- ※パッキンをなくさないでください。
1. フィルターをフィルターケースから外す。
 2. フィルターケース中央にある固定用ねじをドライバーで左に回して、金具が外れない程度にゆるめる。(右図)
 3. フィルターケースにパッキンをはめ、そのまま下部循環口に奥まで差し込む。
 4. ゆるめた固定用ねじを、フィルターケースが容易に動かなくなるまで右に回し込む。(締めすぎると下部循環口が破損するおそれがありますので、ご注意ください)
 5. フィルターケースを元どおり取り付け。

お手入れ (月 1 回程度)

機器本体

機器の外装の汚れは、ぬれた布で落したあと充分水気をふきとってください。
特に汚れのひどいときには、中性洗剤を使用してください。

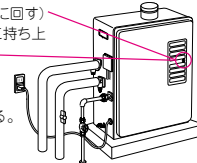
リモコン

リモコンの表面が汚れたときは、湿った布でふいてください。

- リモコンの掃除にはベンジンや塩素系の洗剤を使用しないでください。
変形する場合があります。
- 浴室リモコン・防水型増設リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。
(台所リモコン・増設リモコンは防水タイプではありません。)

給気フィルター

1. 取付用ツマミを回してはずす。(左に回す)
2. 給気フィルターの右端を少し手前に持ち上げながら右に引き出す。
3. 給気フィルターを水洗いする。
やわらかいブラシなどを使って、金網に強い力をかけないようにする。
4. 水洗い後はよく乾燥させてから、1～2の逆の手順で取り付ける。



- 給気フィルターはベンジン・シンナー・みがき粉などでふいたり、液状殺虫剤や熱湯などをかけたりしないでください。
- 故障の原因になりますので、給気フィルターを取りはずしたまま機器を使用したり、ぬれた給気フィルターを取り付けて使用しないでください。

水抜き栓のフィルター

水抜き栓のフィルターにゴミなどが詰まると、お湯の出が悪くなったりお湯にならない場合がありますので、以下の方法で掃除をしてください。

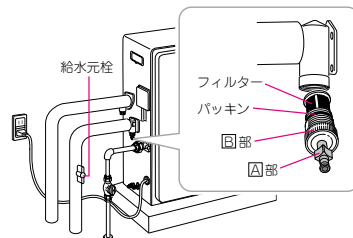
※お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、運転「切」にして機器が冷えてからおこなってください。(やけど予防のため)

※水抜き栓から水(湯)が出ますので、機器の下に容器などを置いて排水を受けてください。

1. 給水元栓を閉める。
2. すべての給湯栓を開ける。
3. 図部を開ける。(※1)
4. 水が完全に抜けたら図部を外す。(※1)
5. フィルターを歯ブラシなどで水洗いする。(※2)
6. 元どおり図部を取り付け、図部を開める。
7. すべての給湯栓を閉める。
8. 給水元栓を開け、水抜き栓の周囲に水漏れがないことを確認する。

(※1) このとき水(湯)が出るので注意してください。

(※2) 水抜き栓からフィルターが外れた場合は、水抜き栓とフィルターの間のパッキンをなくさないように注意してください。



<定期点検のおすすめ(有料)>

ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。
なお、給水用具(逆流防止装置)に関しては、(社)日本水道協会発行の給水用具の維持管理指針に基づいて4～6年に1回程度の点検をおすすめします。点検は販売店または、もよりの大阪ガスにご相談ください。

故障・異常かな？と思ったら-1

「温度」に関すること

給湯栓を開いてもお湯が出てこない	● ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？ ● 断水していませんか？ ● 給湯栓は充分開いていますか？ ● ガスメータ(マイコンメータ)がガスをしゃ断していませんか？ ● 機器から給湯栓まで距離があるので、お湯が出てくるまで少し時間がかかります。 ● 凍結していませんか？ ● 運転スイッチは「切」になっていませんか？
低温のお湯が出ない	● ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？ ● 給湯温度設定は適切ですか？(P17,18) ● 水温が高いときに、低温のお湯を少量出そうとすると、お湯の温度が高くなります。 給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。 ● ソーラー対応ミキシングユニット<スカイブレンダー>を使用して太陽熱温水器と接続している場合、太陽熱温水器でお湯の温度が高くなるため、低温のお湯が出ない場合があります。
高温のお湯が出ない	● ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？ ● 給湯温度設定は適切ですか？(P17,18) ● お湯はりまたは足し湯運転中に台所などでお湯を使用すると、ふろ設定温度のお湯が出ます。お湯はりまたは足し湯運転が終わっても、お湯の使用をいったんやめるまでは、高温のお湯は出ません。(給湯温度設定が高温のときのやけど予防のため) ※リモコンの表示はそのまです。 <例：給湯温度の設定60℃→お湯の温度40℃>
給湯栓を絞ると水になった	● 給湯栓から流れるお湯の量が1分間に約3.5%以下になったとき消火します。 給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。
お風呂のお湯がぬるい お風呂のお湯があつい	● ふろ温度設定は適切ですか？(P23) ● 浴そうの下部循環口のフィルターにゴミや毛髪が詰まっていますか？(P35)

「湯量」に関すること

給湯栓から出るお湯の量が増える	● お湯を使用中、他の場所でお湯を使用したり、お風呂の自動沸かしをすると、お湯の量が減る場合があります。水道の圧力や配管条件によっては、極端にお湯の量が減ったり、いったん止まる場合がありますが、しばらくすると安定します。 ● お湯の温度を安定させるため、お湯の出始めは少なく出し、安定するとお湯をたくさん出すように機器側で制御します。 ● 給湯栓の種類によっては、初め多く出た後安定するなど、出湯量が増えるものがあります。
設定した湯量より多くお湯はりし、浴そうからあふれたり、あふれそうになったりする	● 浴そうの下部循環口のフィルターにゴミや毛髪が詰まっていますか？(P35) ● ふろ湯量設定は適切ですか？(P24) ● 浴そうに人が入っているときにふろ自動スイッチを「入」にすると、お湯があふれることがあります。 ● 残り湯によっては、多くお湯はりすることがあります。(P22)

「リモコン」に関すること

運転ランプが点灯しない	● 停電していませんか？ ● 電源プラグが差し込まれていますか？
リモコンの画面表示がいつのまにか消えている	● 表示節電によって、機器を使用しないまま約10分(浴室リモコンはお風呂の機能を使った場合約1時間)たつと画面表示が消えます。(P2)
リモコンの画面表示がいつのまにか流れるように動いている	● 表示節電を「しない」に設定した場合、機器を使用しないまま約10分(浴室リモコンはお風呂の機能を使った場合約1時間)たつと、画面の焼付防止のため、画面の状態が変わります。(P32)
スイッチを押したらスイッチの機能がはたらかず給湯温度表示画面になる	● 上記のどちらの場合も、再使用したり、いずれかのスイッチを押すと再び表示します。 スイッチを押した場合は、1回押すと元の画面に戻り、もう1回押すとそのスイッチの機能がはたらきます。
リモコンの時刻表示が「0:00」になっている	● 停電後、再通電すると表示画面の時刻表示が「0:00」になることがありますので、設定しなおしてください。(P16)
スイッチを押してもそのスイッチの動作をしない (例)運転スイッチを押して「切」にしたはずなのに切れていない など...	● 表示の節電がはたらいているときにいずれかのスイッチを押すと、いったん表示の節電画面から給湯温度表示画面に戻り、もう一度押すとそのスイッチの動作をします。 運転「入・切」やふろ自動「入・切」などは、ランプの点灯・消灯で確認してください。

故障・異常かな？と思ったら-2

「音」に関すること

浴そうの循環口から「ボコ、ボコ」と空気の出る音がすることがある	● おふろの配管などにたまった空気が出る音で、異常ではありません。
運転を停止してもしばらくの間ファンの回転音（ブーン）がする	● 再使用時の点火をより早くするため、しばらくの間は回転します。 ● 再使用時にお湯の温度を早く安定させるためです。
運転スイッチを「入・切」したり、給湯栓を開めたときに、モータが動く音（クックッ、クー）がする	
ポンプの回転音（ウーン）がする	● ふろ追いだき運転終了後、お湯をまぜるためにポンプがしばらく回ることがあります。 ● おふろの予約運転時、予約時刻の1～2時間前に、残り湯チェックのためポンプの運転をします。 ● 気温が下がると、凍結予防のため、ポンプで浴そうの水を循環させます。

その他

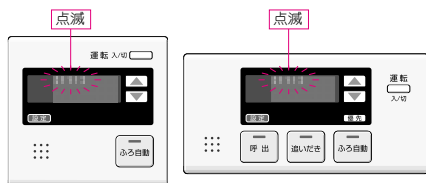
使用中に消火した	● ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？ ● 断水していませんか？ ● 給湯栓は充分開いていますか？ ● ガスメータ（マイコンメータ）がガスをしゃ断していませんか？
寒い日に排気筒トップから湯気が出る	● 冬に吐く息が白く見えるように排気ガス中の水蒸気が白く見えます。
お湯が白く濁って見える	● これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられて、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビール・サイダーなどの泡と似た現象であり汚濁とは違い、無害です。
おふろの自動沸かしを始めるとにごったお湯が出る	● ふろ自動沸かしを始めた直後、配管中の残り湯が若干混入します。特に入浴剤（にごり系）をご使用の場合には目立つ場合があります。
追いだきができない 追いだき中に消火した	● 浴そうの上部循環口センターより10cm以上お湯または、水が入っていますか？ ● ポンプの呼び水をしましたか？（P15） ● 下部循環口のフィルターにゴミや毛髪が詰まっていますか？（P35）
過圧防止安全装置（水抜き栓）から、お湯（水）が少しの間出ることがある	● 機器内に高い圧力が生じたとき、過圧防止安全装置のはたらきにより、過圧防止安全装置（水抜き栓）から水滴が落ちることがあります。
浴そうの循環口からお湯が出たり止まったりする	● ふろ自動スイッチを押すと、残り湯の量を確認するためにポンプが動き、しばらくは循環口からお湯が出たり止まったりします。
おふろを使用していないのに浴そうの循環口からお湯が出る	● 凍結予防のためポンプが回り、配管に残っている水が循環口から出ることがあります。
水が青く見える 浴そうや洗面台が青く変色した	● 浴槽や洗面台が水中に含まれる微量の銅イオンと脂肪分（湯あか）により青く着色することがありますが、健康上問題ありません。浴槽や洗面台をこまめに掃除することにより、着色しにくくなります。

故障・異常かな？と思ったら-3

故障表示をお調べください

不具合が生じたとき、その原因を故障表示が点滅してお知らせします。
下表に応じた処置をしてください。

例：「111」を表示したとき、下図のような点滅をくりかえします。



故障表示	原因	処置
002	初めておふろの自動沸かしをするとき、浴そうに試運転時の水などが残っていたため	再度ふろ自動スイッチを押すと故障表示が消えるので、次回おふろの自動沸かしをするとき、浴そう内に残り湯がない状態でおこなってください。（それ以降は残り湯があっても自動沸かしできます）
011	給湯を連続60分以上運転したため	給湯栓を閉め、運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして使用してください。
032	浴そうの排水栓の閉め忘れ	浴そうの排水栓をし、再操作をして表示が出なければ正常です。
111	給湯側の点火エラーが生じたため	ガス栓が開いているか確認し、運転スイッチをいったん「切」にして再度「入」にし、給湯栓を開いて表示が出なければ正常です。
112	ふろ側の点火エラーが生じたため	ガス栓が開いているか確認し、運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして追いたきスイッチを押して表示が出なければ正常です。
161	お湯の温度が設定温度より異常に上がったため	給湯栓を閉め、運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして、給湯栓をもっと開いて使用してください。
562	断水などで水が通っていないため（おふろの自動沸かし、追いたき、足し湯、さし水の時）	給水元栓が開いているか、断水していないか（水栓から水が出るか）を確認し、いったん運転スイッチを「切」にし、通水を確認してから再使用してください。
632	浴そうの排水栓の閉め忘れ	浴そうの排水栓をし、再操作をして表示が出なければ正常です。
	追いたき運転のとき、浴そうのお湯（水）が足りないため	運転スイッチをいったん「切」にして再度「入」にし、浴そうのお湯（水）を上部循環口センターより10cm以上入れてから追いたき運転してください。（P25）
	下部循環口のフィルター詰まり、または、フィルターが正常に取り付けられていないため	下部循環口のフィルターが詰まっていないか、フィルターが正常に取り付けられているか確認して、運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして使用してください。
901	機器の燃焼に異常が生じたため	修理を依頼してください。
101	給排気異常が生じたため、安全のために給湯能力を低下させます	能力低下の状態で使用できますが、安全のため点検を受けてください。

（次ページへ）

（つづき）

故障表示	原因	処置
991	機器の燃焼に異常が生じたため	修理を依頼してください。
130	燃焼上不具合（一酸化炭素濃度）	【ブザーが鳴らないとき】 ・窓を開けて十分な換気をしてください。 ・給湯栓を閉めてください。 ・給気フィルターが汚れているときは、給気フィルターをはずして掃除してください。（P36） ・運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして表示が出なければ正常です。 【ブザーが鳴るとき】 （ブザーは運転スイッチを「切」にすれば止まります） ・窓を開けて十分な換気をしてください。 ・製品などに異常があります。販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。
380	一酸化炭素濃度検出装置（COセンサー）異常・寿命報知	センサー異常の場合と耐用時間を超えた場合に表示します。修理を依頼してください。そのまま使用すると、使用時に約30秒間ブザーが鳴ります。

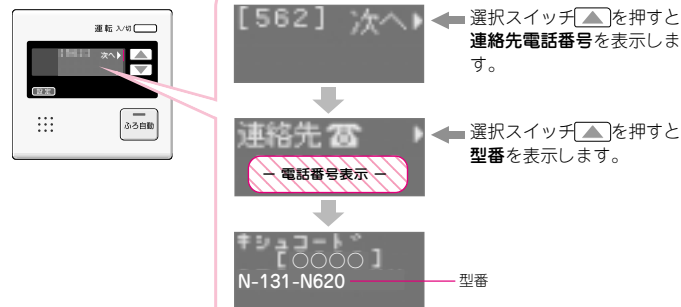
— 以下の場合、販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください —

- 上記以外の表示（例：「562」など）が出るとき
- 上記の処置をしてもなお表示が繰り返し出るとき
- その他、わからないとき

故障表示した場合、リモコンの表示で連絡先電話番号を見ることができます （リモコンの種類により この操作ができないものがあります）

※連絡先電話番号が入力されていない場合があります。その場合、電話番号表示は出ません。

（例：故障表示562の場合）



※型番と故障表示の番号をご連絡ください。

アフターサービスについて

サービスを依頼されるとき

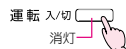
37～42ページの「故障・異常かな？と思ったら」を調べていただき、なお異常のあるときは、販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

連絡していただきたい内容

型番…………… 131-N620型

機器正面に貼り付けてある銘板または保証書をご覧になるか、以下の要領で、リモコンで型番を調べることができます

1 運転スイッチを「切」にする



2 選択スイッチ(上)を 2秒 押す



<リモコン表示画面の表示例>

キッシュコード
[00000]
N-131-N620

型番

※型番をお知らせください。

運転スイッチを「入」にするか、しばらくすると、表示が消えます。

異常の状況……故障表示など、できるだけくわしく
ご住所・ご氏名・電話番号
訪問ご希望日



保証について

取扱説明書の最終ページに保証書がついています。

保証書に記載されている保証期間・保証内容などをよくご確認のうえ、大切に保管してください。

無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造切後10年です。

但し、保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。

なお、補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。

移設される場合

転居などで機器を移設されるときは、機器(銘板)に表示してあるガスの種類・電源(電圧・周波数)が移設先と合っているか必ずご確認ください。

不明のときは、移設先のごガス事業所、販売店または、もよりの大阪ガスにご相談ください。

ガスの種類の異なる地域へ移設されるときは、機器の改造・調整が必要です。この改造・調整に伴う費用は、保証期間中でも有料です。

※ガスの種類によっては改造・調整できない場合があります。

その他

BL認定品には、機器の前面にBLマークを表示しています。

BL認定品は、「優良住宅部品」「瑕疵保証・賠償責任保険付」です。

(財)バッテリーングお客様相談室の電話番号は「03-5211-0680」です。

主な仕様

- ・本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
- ・出湯能力は計算値であり、水圧、給湯配管の条件、お湯の設定温度によって多少異なります。
- ・ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力での値です。

仕様表

16号		自動タイプ
型番	番	131-N620型
型式	名	GRQ-1636SAX-F
給湯方式		先止め式
設置方式		屋内設置据置形
点火方式		放電点火式
使用水圧(MPa)		0.1～1.0 (1.0～10.0kgf/cm ²)
作動水圧(kPa)		10 (0.1kgf/cm ²)
最低作動流量(L/分)		3.5
外形寸法(mm)		高さ715×幅534×奥行239
質量(本体)(kg)		36
接続パイプ		φ45 (ゴム接続)
給湯配管		R1/2
給湯配管		R1/2
ガス配管		R1/2
電圧		AC100V (50/60Hz)
消費電力(50/60Hz)		175/200
待機時消費電力(W)		(凍結予防ヒーター 187)
運転時消費電力(W)		運転スイッチ「入」約14W (省電力モード：約4.5W)、「切」約4.0W <台所・浴室リモコン取付>
凍結予防方式		電子式ガス比例制御方式
安全装置		立消え安全装置、残火安全装置、過熱防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、漏電安全装置、空たき安全装置、沸騰防止装置、一酸化炭素濃度検出装置(COセンサー)、逆流防止装置

能力表

使用ガス	1時間当りのガス消費量(最大消費量) (kW)			出湯能力(最大時) (L/分)	
	給湯ふろ併用	給湯側	ふろ側	水温+25℃上昇	水温+40℃上昇
都市ガス用 13A	46.5	34.9	11.6	16	10